

安全保障理事会決議 1843 (2008)

2008年11月20日、安全保障理事会第6018回会合にて採択

安全保障理事会は、

コンゴ民主共和国に関する従前の決議および議長声明、とりわけ、決議 1794 (2007) および 1756 (2007) ならびに 2008年10月29日付議長声明 (S/PRST/2008/40) を想起し、

キブにおいて平和を回復するための取り組みにおける国際連合コンゴ民主共和国ミッション (MONUC) に対する強い支援を表明し、また、事務総長が安全保障理事会議長宛に送付した、その職務権限の効果的な履行を確実にするために MONUC に追加の能力を要請する 2008年10月31日付書簡に留意し、

決議 1794 (2007) の下で MONUC の職務権限が 2008年12月31日に終了することを想起し、MONUC の職務権限および再編成に関する事務総長の報告および勧告を期待し、

コンゴ民主共和国の主権、領土保全および政治的独立に対する支持を再確認し、

コンゴ民主共和国の東部地域における暴力の再発への非難をくり返し表明し、すべての当事者に対して停戦をただちに尊重することを要求し、

事務総長による大湖地域特使として前ナイジェリア大統領オルシェゲン・オバサンジョの任命を歓迎し、紛争のすべての当事者に対して危機への緊急の政治解決を見出すことに彼と協力することを求め、

人道上の状況の悪化およびとりわけ自国民を対象とした攻撃、性的暴力、子ども兵の徴用、および即決処刑に対して多大な懸念を表明し、この事態は緊急事項として対応されなければならないことを考慮し、

すべての当事者に対して、すべての人道上の主体の時宜にかなった、安全かつ支障のないアクセスを確保した国際人道法、人権法および難民法を含む、国際法の下での義務に完全に従うことを促し、

コンゴ民主共和国における事態が、この地域において国際の平和と安全に対する脅威を引き起こし続けていることを決定し、

国際連合憲章第 7 章にもとづいて行動して、

1. 2008 年 10 月 31 日付書簡において事務総長によって勧告されているように (S/2008/703)、MONUC の許可された軍事力を 2785 名の軍事要員まで、また組織化された警察部隊の規模を 300 名まで暫定的に増加することを決定する。
2. これら追加の定員を 2008 年 12 月 31 日までに即座に配置する権限を与え、追加兵力の駐留期間はキブにおける治安状況によることを強調しつつ、MONUC の職務権限の更新の機会に関する権限を延長する意図を表明する。
3. この暫定的な要員の増加は、MONUC が市民を保護する能力を強化し、組織および兵力を再構成した配置を最大限に活用することを可能とすることを目的としていることを強調する。
4. MONUC が、強固な交戦規則を通じてを含み、完全にその職務権限を履行する重要性を強調する。
5. MONUC が 2008 年 12 月 31 日までに最近の進展を念頭において再検討されることを強調する。
6. この問題に引き続き積極的に取り組むことを決定する。